

【2024年度の大会申込や競技上での確認事項】

2024年度の大会参加についての注意事項や、競技する上での変更事項や確認事項を以下にまとめています。詳細につきましては、各加盟校に郵送しました別紙「令和6年度 JVA-MRS を用いた大会申込方法について」と「2024年度大会要項」をご確認ください。（別紙につきましては、当部ホームページからダウンロードして下さい）

<大会申込・大会運営に関すること>

- ① 各大会の申込は（公財）日本バレーボール協会登録管理システム（JVA-MRS）による方法に変更となります。
 - ・申込方法の詳細については、別紙「令和6年度 JVA-MRS を用いた大会申込方法について」をご確認ください。
- ② 各大会に出場する選手は、JVA-MRS に個人登録し、登録費が納入されている選手で、チームに所属された選手のみ出場可能となります。（JVA-MRS に登録されていない選手は大会出場が認められません）
 - ・チームの責任者は、大会前日までに JVA-MRS で個人登録及びメンバー登録を行い、「JVA-MRS チーム加入選手一覧」を印刷し、大会当日に試合会場で提出してください。
 - ※（重要）ただし「春季大会予選」については新入生の入部に配慮し、個人登録費が「納付済み」でなくても、「JVA-MRS チーム加入選手一覧」に名前のある選手であれば大会出場が可能です。
- ③ 大会に登録するメンバーを、従来の「最大18名」から「JVA-MRS でチームに所属された選手全員」とします。
 - ・所属選手が18名を超える場合でも、今までのように18名の登録選手を選出する必要がなくなります。大会当日に提出した「JVA-MRS チーム加入選手一覧」の選手の中から、毎試合ごとにベンチ入り選手（最大14名）を決めることができます。
 - ・大会参加初日に提出した「JVA-MRS 加入選手一覧」は、その後も内容に変更がなければ、大会最終日まで再度提出する必要ありません。試合に勝ち上がり、次に試合日までに大会期間中に内容の変更（選手の追加等）があった場合は、試合当日の受付時に、新たな「JVA-MRS 加入選手一覧」を提出してください。
- ④ 各大会の申込書の書式が変わりました。
 - ・毎試合ごとにベンチ入り選手は「JVA-MRS チーム加入選手一覧」でチェックをしますので、申込書には従来までの登録選手（18名）を記入する欄が不要となります。
 - ・春季大会予選以降の大会は「申込用紙の原本（要公印）」と「JVA-MRS チーム加入選手一覧」を大会当日に試合会場に持参してください。
- ⑤ 出場校確認日について
 - ・申込締切日の翌日以降に「出場校確認日」を設定し、当部ホームページにて申込完了を確認できるようにします。
- ⑥ チームスタッフについて
 - ・チームスタッフとしてエントリーできるのは1大会につき1チームのみです。複数の学校で指導員を兼任している場合でも、大会のエントリーは、申込時に登録した1チームのみとなります。
- ⑦ 合同チームについて
 - ・合同チームは引き続き高体連が主催するすべての大会に参加することを認めます。
 - 合同チームに関する詳細は、「2024年度大会要項」「令和6年度合同チームの取り扱いについて」をご確認ください。

⑧ チームの集合時間の設定について

・トーナメント戦による競技方法の場合は、「追い込み方式」での大会運営を行います。例えば第3試合・第4試合が初戦となるチームは時差で集合するなど、チームの会場拘束時間なるべく長くならないよう配慮しながら大会運営を行います。

< 競技に関すること >

⑨ 公式練習開始時刻になっても選手が6人揃っていない、または引率責任者がいない場合の対応について

・公式練習開始時刻から15分間待っても選手が6人揃わない、または引率責任者が会場にいない場合は棄権として扱います。そのとき、公式練習は通常通り行い、公式練習後はベンチで待機します。

→例外として、引率責任者が電車事故等の特別な事情が発生し、会場への到着が遅れている場合、その旨の連絡が本部にあり会場主任が認めた場合は、引率責任者不在のままゲームを実施する場合があります。

⑩ リバロプレーヤーのユニフォームについて

・リバロプレーヤーはゼッケンではなく、他の競技者と明らかに違う色のユニフォームを使用してください。

→令和3年度より、「リバロゼッケン」を廃止しています。

・2名のリバロは他の選手と異なる色で、さらに2名のリバロ同士が異なる色のユニフォームを着用することができます。

⑪ 競技者の服装について

・ゲームパンツとソックスについてもゲームシャツと同様、同一のカラー・長さ・デザインに統一してください（メーカはその限りではありません）

・ソックスはくるぶしが見える短いものは怪我防止のため禁止です。必ずくるぶしが隠れる長さのソックスにしてください。

・ユニフォームのシャツの裾は、そのデザインに関わらず、試合中はシャツの裾をゲームパンツの中に入れてください。

⑫ 装具の着用について

・金属が表面に出ていて、他の選手と接触したときに怪我の恐れがあるような装具は、着用してのプレーは認められていません。

（特に膝前十字靭帯の手術後に用いる装具がこれに該当します）

ただし、以下の2点が確認できれば、装具を使用してのプレーを認めます。大会当日、会場主任に確認し許可を取ってください。

① 装具の上から布等で覆い、金属部分が表面に出ていない状態であること。

② 他の選手と接触しても怪我をさせない程度に保護されていること。

<参考>



・腰に帯状に巻くサポーターやコルセットは、ユニフォームのシャツの中で着用してください。

【問い合わせ先】

競技委員長 及川泰徳（都立千早高等学校）

TEL 03-5964-1721